豊後高田市立臼野小学校

学力向上プランの概要

① 組織的な授業改善の取組
- 一部教科担任制を取り入れた授業
- 課題の工夫、考えを交流する場の工夫

② 学力向上に向けた取り組み
- 家庭学習の取組とやり直しの徹底
- ３０秒スピーチで、話す力と聞く力の育成
- 学習規律「臼野小学習１０のきまり」の徹底

授業の準備（前の授業が終わってすぐ）
①机の上に「教科書（左）」「ノート（中・右）」「下敷き（ノートに敷く）」「筆箱（上）」を用意する。
②トイレを済ませる。
③時計を見て、始まり前には席について待っておく。

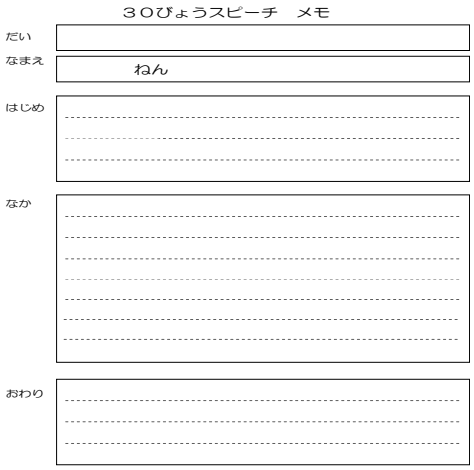
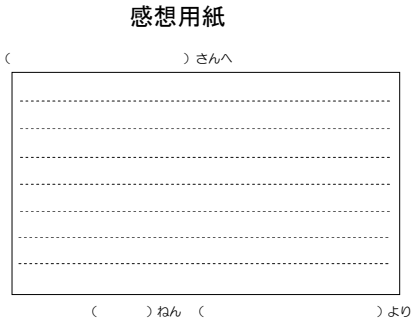
授業中
④始まりと終わりのあいさつをきちんとする。
⑤姿勢を正しくして座る。
⑥指名されたら「はい」と返事をし、立って発表、または前に出て説明する。
⑦先生や友だちの話は、体を向けて最後までだまって聞く。
⑧鉛筆を正しくもち、ノートはていねいな字で書く。

おうちですること
⑨筆箱の中身をそろえる。
けずった鉛筆５本、消しゴム、赤ペン（赤鉛筆）、定規は必ず入れる。
青ペン（青鉛筆）、名前ペン、蛍光ペン、はさみ、のり、三角定規、分度器、コンパスなどは、先生と相談して必要な学年は入れておく。
⑩毎日時間割をそろえ、教科書、ノート、筆箱、宿題など忘れ物のないように準備する。

効果のある取組事例

① 授業の中に、考えを持つ・対話する・説明する場を設ける。
- 算数では毎時間、国語では単元に１回以上、考えを書き、相手に伝わるような工夫（図、表、動作など）をして説明する場を設けている。少人数のため、説明の時間は十分に保障され、主体的・対話的な授業展開を行うことができる。

② 家庭学習の取組とやり直しの徹底
- 教科担当が毎日の家庭学習の課題を準備する。翌日の給食後、担当が課題の確認とやり直しを行う。
- 平日の課題は、その日の学習内容に準じた復習で基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、土日には、思考力・判断力・表現力を伸ばす発展的な課題にも取り組ませている。

③ 自主学習の取り組み
- 週末課題として、学年に応じた形で自主学習に取り組んでいる。

④ ３０秒スピーチで、話す力と聞く力の育成
- 毎日の全校朝の会の中で、「３０秒スピーチ」を設定し、一人ずつ順番に話をする。聞く側は感想カードを書いて発表者に渡す。これまで６年間続けてきており、少人数ながらみんなの前で話すことや感想をもつことには慣れ、表現力が高まってきている。